

第2次
燕市男女共同参画推進プラン
推進状況報告書

平成24年度実施状況

平成25年2月

新潟県燕市

事業評価一覧

		基本目標・方針・施策	A	B	C	D
基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり				
方針	1	男女共同参画の理解の推進				
施策	1	男女共同参画の啓発	2	3	0	0
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発	2	5	0	0
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進				
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進	1	4	0	0
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供	2	2	0	0
基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり				
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進				
施策	1	市の各種審議会等への女性参画の推進	0	2	0	0
施策	2	防災、被災時、災害復興時の女性参画の推進	1	1	0	0
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進	0	5	0	0
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進				
施策	1	地域における男女共同参画の推進	1	2	0	1
施策	2	家庭における男女共同参画の推進	2	3	0	0
方針	3	女性の就業環境の整備				
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備	0	5	0	0
施策	2	職場における女性の就業環境の整備	1	4	0	0
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援	1	4	0	0
基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり				
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備				
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備	0	5	0	0
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実	1	8	3	0
方針	2	生涯にわたる健康支援				
施策	1	男女への健康支援	9	3	0	0
施策	2	性差に応じた健康支援	5	0	0	0
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶				
施策	1	暴力の根絶に向けた意識啓発	1	1	0	0
施策	2	被害者の自立支援対策の推進	2	0	0	0
施策	3	相談体制の充実	2	2	0	0
計画の総合的な推進						
施策	1	推進体制の整備	1	1	0	0
施策	2	市民、事業所、各種団体、関係機関との連携協力	0	2	0	0
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進	1	5	0	0
施策	4	計画の推進状況の調査と公表	1	0	0	0
計			36	67	3	1

※評価について: 評価は担当者による自己評価です。「企画・立案」、「実施」、「課題ニーズの把握」、「その他」の4つの項目に分け、どの項目において男女共同参画の視点を取り入れたか、その項目数で評価をしている。4～3はA、2～1はB、事業は行ったが視点を取り入れていない場合はC、事業未実施はD評価としている。

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	1	男女共同参画の啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
1 広報媒体を利用して男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	広報つばめやHPを利用した啓発	0	B ・男性にとっての男女共同参画について掲載した ・介護、健康問題、仕事、子育てなど様々な分野に関連した男女共同参画について掲載した	24年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市民 ・毎月広報に男女共同参画に関するコラムを掲載 ・ホームページを利用した情報提供					
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ	600	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・保育ルームを設置、大勢の方が来場しやすいように休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画の意識についてアンケートを行い、男女別に集計した。	24年度同様	600	地域振興課
	時期	11月25日					
	対象	市民 ・市民による実行委員の企画運営で実施した。 ・子育てに関するワークショップ、即売、家族の絵の展示や、増岡弘さん（声優）による講演会を開催。燕・弥彦PTA連絡協議会、燕市社会福祉協議会と共催。					
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	地域セミナー	54	B ・男女では異なる健康問題をテーマにセミナーを行った。 ・働いている人も参加しやすいように産業カレンダーが休日の土曜日に開催した。保育ルームを設置した。	テーマ未定	50	地域振興課
	時期	9月～12月					
	対象	女性 更年期に関連した女性の体と心の変化をテーマにした「女性のためのカラダとココロの健康セミナー」を実施。全4回、参加者延56人、保育利用延4人					

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	1	男女共同参画の啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	エコ生活で暮らし上手講座 (3回シリーズ)	31	A ・男女や市民、職員に関わらずニーズや意見を聞いた。チラシ、ポスター、広報などの作成では性別による固定的役割を表すようなイラストや表現を使用しないように配慮した。 ・男女共同参画の内容を含んだ、生活に結び付く事業を実施した。 ・参加者アンケートを行い、満足度が全体の88%を占めた。	①園芸②手芸③木工と、H24と同様の分野を予定しているが、内容をより実生活に生かせる物づくりにし、男女問わず参加しやすい日程にするよう配慮する。	37	生涯学習課
	時期	7月～9月					
	<ul style="list-style-type: none"> ・男性・女性の隔てなく家庭生活の自立を促すことを目的とし、園芸・手芸・木工教室を開催した。園芸：7/27(金)「ペットボトルでガーデニング」手芸：8/31(金)、9/7(金)「布ぞうりを編む」木工：8/11(金)「マイ棚を作ろう」 ■参加人数 69人 (男 4人・女 65人) 						
3 各施設を通じて男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	情報提供	0	B ・男女共同参画に関連した情報を提供 ・DV相談カードを女性トイレに設置	24年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
	<ul style="list-style-type: none"> ・各庁舎や公共施設にポスターの掲示やチラシの配布を依頼 ・DV相談カードを公共施設のトイレに設置 						

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
4 【再掲】 広報媒体を利用して男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	広報つばめやHPを利用した啓発	0	B ・男女共同参画に関する情報を提供した。	24年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市民					
		・毎月広報に男女共同参画に関するコラムを掲載 ・ホームページを利用した情報提供					
5 【再掲】 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ	600	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・保育ルームを設置、大勢の方が来場しやすいように休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画の意識についてアンケートを行い、男女別に集計した。	24年度同様	600	地域振興課
	時期	11月25日					
	対象	市民					
		・市民による実行委員の企画運営で実施した。 ・子育てに関するワークショップ、即売、家族の絵の展示や、増岡弘さん（声優）による講演会を開催。燕・弥彦PTA連絡協議会、燕市社会福祉協議会と共催。					
5 【再掲】 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	地域セミナー	54	B ・男女では異なる健康問題をテーマにセミナーを行った。 ・働いている人も参加しやすいように産業カレンダーが休日の土曜日に開催した。保育ルームを設置した。	テーマ未定	50	地域振興課
	時期	9月～12月					
	対象	女性					
		更年期に関連した女性の体と心の変化をテーマにした「女性のためのカラダとココロの健康セミナー」を実施。全4回、参加者延56人、保育利用延4人					

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
5 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	エコ生活で暮らし上手講座 (3回シリーズ)	31	A ・男女や市民、職員に関わらずニーズや意見を聞いた。チラシ、ポスター、広報などの作成では性別による固定的役割を表すようなイラストや表現を使用しないように配慮した。 ・男女共同参画の内容を含んだ、生活に結び付く事業を実施した。 ・参加者アンケートを行い、満足度が全体の88%を占めた。	①園芸②手芸③木工と、H24と同様の分野を予定しているが、内容をより実生活に生かせる物づくりにし、男女問わず参加しやすい日程にするよう配慮する。	37	生涯学習課
	時期	7月～9月					
	対象	成人(木工のみ) ・男性・女性の隔てなく家庭生活の自立を促すことを目的とし、園芸・手芸・木工教室を開催した。園芸: 7/27(金)「ペットボトルでガーデニング」手芸: 8/31(金)、9/7(金)「布ぞうりを編む」木工: 8/11(金)「マイ棚を作ろう」 ■参加人数 69人(男 4人・女 65人)					
6 【再掲】各施設を通じて男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	情報提供	0	B ・男女共同参画に関連した情報を提供 ・DV相談カードを女性トイレに設置	24年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市民 ・各庁舎や公共施設にポスターの掲示やチラシの配布を依頼 ・DV相談カードを公共施設のトイレに設置					
7 市の刊行物において、男女共同参画の視点を持った表現に努めます	事業名	刊行物への配慮	0	B ・固定的性別役割分担意識を助長するような表現をしないように配慮した	24年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
	対象	職員 各課において作成する広報、チラシ、ポスター、パンフレット、その他刊行物を作成する際に性別による役割分担意識に配慮しているかどうか留意する					
8 男女共同参画に関する情報収集や調査を行います	事業名	アンケート実施	0	B ・男女共同参画に関する意識調査を行った ・男女別に集計を行い、広報のコラムで公表した	24年度同様	0	地域振興課
	時期	11月25日					
	対象	フェスタ来場者 ふれ愛フェスタ来場者に、男女共同参画に関する意識調査を行った					

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
9 生徒児童に対して人権教育や男女平等の性教育等を指導・推進します	事業名	児童生徒への人権教育等の推進	0	B ・人権教育の一環として、男女共同参画をひとつの柱としていくことを確認。 ・研修や授業の中で男女共同参画の視点を取り入れた。	人権教育の推進、性教育計画の立案と授業の実践	0	学校教育課
	時期	通年					
	対象	児童生徒					
	市教委連携事業の中で人権教育を推進 キャリア教育全体計画の作成 職場体験学習 情報交換会の設定 性教育計画の立案と授業の実践						
10 保護者や教職員等に対して男女共同参画について情報を発信したり、研修を行ったりします	事業名	男女共同参画にかかる情報発信及び研修	0	B ・校長会、教頭会で男女共同参画について機会を捉えて啓発したり触れたりするよう指導。 ・各学校で男女共同参画を意識した取組の実施。	男女共同参画教育に関する情報等を学校たより等により保護者に発信	0	学校教育課
	時期	通年					
	対象	教職員、保護者					
	男女共同参画教育に関する情報等を学校たより等により保護者に発信						
11 保護者や教職員等が参画しやすい職場・学校環境を整備し、ミドルリーダー（主任クラス）の育成をめざします	事業名	職場・学校環境の整備とミドルリーダーの育成	0	A ・校長会、教頭会で性別による分掌等での役割の固定化がないよう指導。 ・各学校での役職の把握。 ・学校訪問等で学校の現状の把握に努めた。	ミドルリーダーの育成参画しやすい職場環境と学校運営の推進	0	学校教育課
	時期	通年					
	対象	教職員					
	ミドルリーダーの育成参画しやすい職場環境と学校運営の推進						
12 保育者や保護者へ男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	職員研修	0	B ・男女共同参画基礎講座を受講し、今後の保育園運営に取り入れる。	男女共同参画の研修会等を計画する	0	子育て支援課
	時期	12月18日					
	対象	職員（保育士）					
	タイトル ・男女共同参画基礎講座（地域振興課主催）						

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課								
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費									
13 男女ともに参画しやすい保護者会活動を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>保護者会・PTA 役員会</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>保育園・幼稚園 の保護者</td> </tr> <tr> <td colspan="2">PTA・保護者会役員などに男女がバランスよく参画してもらえよう働きかけます。</td> </tr> </table>	事業名	保護者会・PTA 役員会	時期	随時	対象	保育園・幼稚園 の保護者	PTA・保護者会役員などに男女がバランスよく参画してもらえよう働きかけます。		0	B 運動会、夕涼み会等の保育園行事の役員を決める際、男性保護者に協力を呼びかけた。	男性保護者が参加しやすい休日の行事については、積極的に参加を呼び掛けていく。	0	子育て支援課
事業名	保護者会・PTA 役員会													
時期	随時													
対象	保育園・幼稚園 の保護者													
PTA・保護者会役員などに男女がバランスよく参画してもらえよう働きかけます。														

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名 つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ 時期 11月25日 対象 市民 ・市民による実行委員の企画運営で実施した。 ・子育てに関するワークショップ、即売、家族の絵の展示や、増岡弘さん（声優）による講演会を開催。燕・弥彦PTA連絡協議会、燕市社会福祉協議会と共催。	600	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・保育ルームを設置、大勢の方が来場しやすいように休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画の意識についてアンケートを行い、男女別に集計した。	24年度同様	600	地域振興課
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名 地域セミナー 時期 9月～12月 対象 女性 更年期に関連した女性の体と心の変化をテーマにした「女性のためのカラダとココロの健康セミナー」を実施。全4回、参加者延56人、保育利用延4人	54	B ・男女では異なる健康問題をテーマにセミナーを行った。 ・働いている人も参加しやすいように産業カレンダーが休日の土曜日に開催した。保育ルームを設置した。	テーマ未定	50	地域振興課
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名 エコ生活で暮らし上手講座（3回シリーズ） 時期 7月～9月 対象 成人（木工のみ） ・男性・女性の隔てなく家庭生活の自立を促すことを目的とし、園芸・手芸・木工教室を開催した。園芸：7/27（金）「ペットボトルでガーデニング」手芸：8/31（金）、9/7（金）「布ぞうりを編む」木工：8/11（金）「マイ棚を作ろう」 ■参加人数 69人（男 4人・女 65人）	31	A ・男女や市民、職員に関わらずニーズや意見を聞いた。チラシ、ポスター、広報などの作成では性別による固定的役割を表すようなイラストや表現を使用しないように配慮した。 ・男女共同参画の内容を含んだ、生活に結び付く事業を実施した。 ・参加者アンケートを行い、満足度が全体の88%を占めた。	①園芸②手芸③木工と、H24と同様の分野を予定しているが、内容をより実生活に生かせる物づくりにし、男女問わず参加しやすい日程にするよう配慮する。	37	生涯学習課

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
15 男女共同参画に関する図書を整備します	事業名 男女共同参画関連図書の紹介 時期 6月 対象 市民 ・男女共同参画についてのさまざまな視点にふれ理解を深めてもらえるよう、広報6/1号「BOOK CHOICE」欄にて、『できることは何?男性・女性』をテーマに図書紹介をした。 ・6月男女共同参画週間に合わせて市民の方々に関心を高めてもらえるように、燕図書館入口に男女共同参画関連の図書を紹介コーナーに設置した。	0	B ・地域振興課と連動して広報掲載を行った。 ・老若男女、身近でさまざまな角度から男女共同参画の意識啓発につながるような図書を選定した。	男女共同参画週間のタイミングを逃さず、情報提供をしていく。	0	生涯学習課

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	1	市の各種審議会等への女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
16 市の各種審議会等への女性委員の登用を推進します	事業名	女性委員登用の推進	0	B ・指針に基づき、各課での女性委員の登用状況の把握に努めている。	指針に基づき、引き続き、各課へ女性委員の登用を働きかけていく。	0	総務課
	時期	随時					
	対象	委員					
	特に実施しなかったが、附属機関については、「燕市附属機関等の設置、運営、公募及び公開に関する指針」に基づき、各課で女性委員の登用に努めている。						
17 女性委員の登用状況を定期的に調査し、公表します	事業名	女性委員登用状況調査	0	B ・調査を行うことにより女性委員登用を啓発することにつながる	24年度同様	0	地域振興課
	時期	5月・1月					
	対象	職員					
	審議会等への女性委員登用の推進状況を調査し、県へ報告するための調査を5月に実施し、1月にプランの推進実施状況報告と合わせて調査した。結果についてはHPで公表する						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	2	防災、被災時、災害復興時の女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
18 女性の人權尊重に配慮して地域防災計画を策定します	事業名	燕市防災会議	120	A ・防災対策に関係し、女性が活動する団体から委員を新たに登用した。 ・女性委員からの意見を地域防災計画に反映させた。(避難所の運営など) ・防災会議委員だけではなく、市内の女性団体あるいは庁内検討会議の女性職員から意見を聞き、防災計画修正の参考にしている。	420	防災課
	時期	7月、2月				
	対象	燕市防災会議委員				
	<p>燕市防災会議委員に、燕市男女共同参画推進委員会、燕市保健推進委員協議会、燕市民生委員・児童委員協議会から3名の女性委員が推薦され、さらに放送関係団体からも女性委員に変更されたため、4名の女性委員が委嘱された。また、条例改正によって「学識経験者」から委員を委嘱することができたことになったため、さらに女性委員を1名増員している。</p> <p>女性委員を増員することによって、女性の視点を地域防災計画の修正に反映させるよう努めている。</p> <p>■委員人数(予定) 41人(男 36人・女 5人)</p>					
19 自主防災組織への女性の参画を働きかけます	事業名	女性の防災活動の参画促進	0	B ・防災活動における男女のニーズの違いなどについて説明し、女性の活動参画を働きかけた。	0	防災課
	時期	通年				
	対象	自主防災組織				
	<p>自主防災組織やまちづくり協議会が行う地域の防災訓練などの防災活動において、女性の視点を取り入れた活動を展開させることによって、より地域の防災力が向上されることなどを出前講座や地域に防災活動に参加した際に説明している。</p> <p>■出前講座・地域の防災活動の件数 22件</p>					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
20 事業所などへ女性登用を働きかけます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>事業所への女性登用の啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市内事業所</td> </tr> </table> <p>新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。</p>	事業名	事業所への女性登用の啓発	時期	随時	対象	市内事業所	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	24年度同様	0	商工振興課
事業名	事業所への女性登用の啓発											
時期	随時											
対象	市内事業所											
21 農業関係団体へ女性登用を働きかけます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>農業関係団体への啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>女性農業者</td> </tr> </table> <p>JAを始め各農業団体や農業法人との情報交換や連携を取りながら、啓発活動を実施していく。</p>	事業名	農業関係団体への啓発	時期	随時	対象	女性農業者	0	B ・「人・農地プラン」の策定にあたり、プランの検討会委員に3割を超える女性の参加を求めた。	現段階においては計画策定中	0	農政課
事業名	農業関係団体への啓発											
時期	随時											
対象	女性農業者											
22 事業者や各種団体等における男女共同参画の啓発を行います	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>事業者や各種団体等への啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>燕・弥彦PTA連絡協議会、燕市社会福祉協議会と共催でふれ愛フェスタを開催することによる事業所や団体などへの啓発</p>	事業名	事業者や各種団体等への啓発	時期	通年	対象	市民	0	B ・団体から委員になってもらうことで男女共同参画の啓発になり、それが事業所や団体への啓発につながっていく	24年度同様	0	地域振興課
事業名	事業者や各種団体等への啓発											
時期	通年											
対象	市民											
23 ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>ハッピー・パートナー企業の登録推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市内企業、団体</td> </tr> </table> <p>広報紙にハッピー・パートナー企業の登録について掲載、また、個別に事業所を訪問し登録を依頼した。</p>	事業名	ハッピー・パートナー企業の登録推進	時期	通年	対象	市内企業、団体	0	B ・事業所を訪問し、登録について説明することで男女共同参画の啓発につながる	24年度同様	0	地域振興課
事業名	ハッピー・パートナー企業の登録推進											
時期	通年											
対象	市内企業、団体											

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課								
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費									
23 ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市内事業所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リーフレット等による周知を行った。</td> </tr> </table>	事業名	ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発	時期	随時	対象	市内事業所		リーフレット等による周知を行った。	0	B ・リーフレット等による周知を行った。	24年度同様	0	商工振興課
事業名	ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発													
時期	随時													
対象	市内事業所													
	リーフレット等による周知を行った。													

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	1	地域における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
24 自治会長や自治会役員に女性登用を働きかけます	事業名	自治会役員等地域組織への啓発	0	D	24年度同様	0	総務課
	時期	自治会総会開催時					
	対象	各自治会					
	自治会長は、自治会から推薦された方を市長が委嘱しているため、こちらから女性を推薦してとは言えない。また、自治会役員も総会で決定されており、自治会に任せています。						
25 まちづくり協議会の役員に女性登用を働きかけます	事業名	まちづくり協議会懇談会	0	B ・懇談会で地域の課題を地域で解決していくためには女性も含め多様な意見や知恵が必要である旨を話した	機会あるごとに、女性参画について働きかけていきたい	0	地域振興課
	時期	6月・2月					
	対象	まちづくり協議会					
	年に2回行うまちづくり協議会懇談会で、女性参画を働きかける						
26 地域活動における男女共同参画の啓発を行います	事業名	つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ	0	B ・PTAから参加してもらうことにより団体への啓発につながる	24年度同様	0	地域振興課
	時期	11月25日					
	対象	市民					
	燕・弥彦PTA連絡協議会と共催し、また委員として参加してもらった						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	1	地域における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
27 団体活動の情報収集と活動支援を行います	事業名	イキイキまちづくり事業審査会	100	A ・審査員は男性3人、女性2人で構成し、男女双方の意見を審査に反映させている ・審査会においては男女双方が発言しやすいような会議運営に配慮した。公開審査会は、仕事をしている人が参加しやすいように夜間に実施した ・女性の活躍がめざましいNPO活動や市民団体に関係する団体の女性が審査員をつとめることにより、市内の団体の女性の活躍に波及していく	24年度同様	100	地域振興課
	時期	5月					
	対象	イキイキまちづくり団体					
	イキイキまちづくり事業助成金の申請について審査を行う						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
28 家庭に向けた男女共同参画の啓発を行います	事業名 つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ 時期 11月25日 対象 市民 「マスオ流男女共同参画～サザエさん一家は幸福みつけの達人～」と題して家庭における男女共同参画の講演を行い、子育て中の方を対象にしたワークショップを実施した	600	A ・家庭における男女共同参画をテーマに企画した ・家庭における男女共同参画についてアンケート調査を行った ・休日に開催することによりワークショップに男性も参加した	未定	600	地域振興課
29 家庭教育のための学習会を充実します	事業名 家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座） 時期 通年（食育推進講座は3月の予定） 対象 燕市内の園児・児童・生徒とその保護者（食育推進講座は年長児～小学校3年生の児童とその保護者の予定） 【家庭教育講座】「心の燕市8つのチャレンジ」を地域・家庭において定着させ推進するために、市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校のPTAや保護者会が主催する家庭教育講座の謝礼金の一部を助成する。（助成額：1団体につき上限7,000円） ■参加人数3,653人 【食育推進講座】親子を対象にした家庭教育学級の食育講座として3月に実施予定。 ・保護者は“食”を切り口に子どもの生きていく力を育む働きかけ・関わりのヒントを知り、家庭教育の在り方を考える。子どもは簡単な調理実習を行う。（親子別室）最後に親子で試食をする。	300	B ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・開催日を男女ともに参加しやすい日に設定した。講師との打ち合わせの際に男女共同参画の視点をもとに進めていただくことを確認した。	・男女ともに、固定的な役割意識無く関心を持ってもらえるような広報をする。 ・参加しやすい日程を設ける ・男女の意見を聞いて行う。	300	生涯学習課

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	事業名	ハッピーベビークラブに男性の参加を推進していきます	18	A ・夫が参加しやすいように、産業カレンダーの休日の土曜日を可能な限り設定。参加した夫婦の感想も参考に企画立案している。 ・夫婦が協力し夢ある子育てができるようGWを実施。上の子どもを連れの参加も可能。 ・毎回、参加者全員に直接感想を聞いており、妻の意見・夫の意見について把握をしている	夫婦で参加できるように、夫へのアプローチを検討	18	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	母子手帳の交付を受けた夫婦					
	母子手帳交付時に、ハッピーベビークラブの周知をし、参加勧奨をしている。 ■参加人数 65人（男65人）※平成25年1月末現在の夫の参加者数						
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	事業名	児童館事業	20	B ・命の大切さを赤ちゃんとふれあうことから若い世代に伝え、父親からも体験してもらう。	・命の大切さを赤ちゃんとふれあうことから若い世代に伝え、父親からも体験してもらう。	20	子育て支援課
	時期	随時					
	対象	乳幼児親子、小・中学生・高校生、地域の父兄					
	・赤ちゃんとのおふれあい交流会 小・中・高校生が赤ちゃんとのおふれあいを通して命の大切さを若い世代に伝える。 ・「イクメン講座」育児中の父親を対象に、育児や家事への参加につながるような事業を実施する。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座）</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年（食育推進講座は3月の予定）</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>燕市内の園児・児童・生徒とその保護者（食育推進講座は年長児～小学校3年生の児童とその保護者の予定）</td> </tr> </table> <p>【家庭教育講座】「心の燕市8つのチャレンジ」を地域・家庭において定着させ推進するために、市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校のPTAや保護者会が主催する家庭教育講座の謝礼金の一部を助成する。（助成額：1団体につき上限7,000円） ■参加人数3,653人 【食育推進講座】親子を対象にした家庭教育学級の食育講座として3月に実施予定。 ・保護者は“食”を切り口に子どもの生きていく力を育む働きかけ・関わりのヒントを知り、家庭教育の在り方を考える。子どもは簡単な調理実習を行う。（親子別室）最後に親子で試食をする。</p>	事業名	家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座）	時期	通年（食育推進講座は3月の予定）	対象	燕市内の園児・児童・生徒とその保護者（食育推進講座は年長児～小学校3年生の児童とその保護者の予定）	300	B ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・開催日を男女ともに参加しやすい日に設定した。講師との打ち合わせの際に男女共同参画の視点をもとに進めていただくことを確認した。	・男女ともに、固定的な役割意識無く関心を持ってもらえるような広報をする。 ・参加しやすい日程を設ける ・男女の意見を聞いて行う。	300	生涯学習課
事業名	家庭教育推進事業（家庭教育講座/食育推進講座）											
時期	通年（食育推進講座は3月の予定）											
対象	燕市内の園児・児童・生徒とその保護者（食育推進講座は年長児～小学校3年生の児童とその保護者の予定）											

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
31 自営業における女性の経営参画を啓発します	事業名	自営業における女性の経営参画の啓発	0	B ・関係機関への周知を行った。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	関係機関					
	関係機関と連携し、啓発に努めた。						
32 家族経営協定締結の普及に努めます	事業名	家族経営協定の推進と労働条件向上についての啓発	0	B ・燕市農業委員会において、家族経営協定締結に向けた啓発活動(農家全戸にチラシ配布) ・今年度1件の協定締結。	24年度同様	0	農政課
	時期	随時					
	対象	女性農業者					
	燕市農業委員会で行っている家族協定の締結等事務について、同委員会と情報を共有しながら県などの関係機関との協議を図っている						
33 生産経営の担い手としての知識と技術を取得するための情報を提供します	事業名	生産経営の担い手としての知識・技術を習得するための研修会の実施	0	B ・女性農業者等が、自らの経験や、興味を抱いている内容について研修する機会を支援 ・対象を「次代を担う女性農業者」に絞り、研修会に参加しやすい環境を提供し若い女性農業者を支援	研修会実施のPR、参加誘導	0	農政課
	時期	随時					
	対象	女性農業者					
	女性農業者アグリフレッシュ講座 (平成24年6月27日・10月19日実施・2月23日実施予定) 対象者：農業経営や農業従事経験のあるおおむね25歳から45歳までの女性農業者 主な研修内容：次代を担う若い女性農業者のキャリアプランの作成や仲間作り、農業に関する新しい知見について学び、技術・知識の習得、将来の農業経営者としての資質向上を図る ■参加人数 4人						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
34 女性の起業のための支援をします	事業名	女性の起業のための支援	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。女性の起業のひとつの支援方法として、つばめるしえへの出店募集による機会創出を行った。						
34 女性の起業のための支援をします	事業名	生産経営の担い手としての知識・技術を習得するための研修会の実施	0	B ・女性農業者等が、自らの経験や、興味を抱いている内容について研修する機会を支援 ・対象を「次代を担う女性農業者」に絞り、研修会に参加しやすい環境を提供し若い女性農業者を支援	研修会実施のPR、参加誘導	0	農政課
	時期	随時					
	対象	女性農業者					
	女性農業者アグリフレッシュ講座 (平成24年6月27日・10月19日実施・2月23日実施予定) 対象者：農業経営や農業従事経験のあるおおむね25歳から45歳までの女性農業者 主な研修内容：次代を担う若い女性農業者のキャリアプランの作成や仲間作り、農業に関する新しい知見について学び、技術・知識の習得、将来の農業経営者としての資質向上を図る ■参加人数 4人						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	2	職場における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
35 労働基準法、男女雇用機会均等法、その他関係法令を周知します	事業名	労働基準法、男女雇用機会均等法、その他関係法令の周知	0	B ・関係法令の周知に努めた。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
36 パートタイム労働（非正規雇用）条件向上のために関係法令を周知します	事業名	パートタイム労働法・労働者派遣法などの内容周知	0	B ・関係法令の周知を図った。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
37 セクシュアル・ハラスメント防止を啓発します	事業名	セクシャル・ハラスメント防止のための啓発	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	2	職場における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
38 セクシュアル・ハラスメントの相談窓口を周知します	事業名	セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知	0	B ・男女共同参画の内容を含んだ事業を実施した	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
39 職場での健康管理体制を充実します	事業名	保健所の協力を受け、職域との連携を図る	1	A ・健康課題を性別でも分析し企画 ・相談の中で、男女にこだわらず、自分でできることをする、夫婦で協力するなどのアドバイスを実施 ・商工会の健診受診者なのでデータの把握はないが、相談内容や反応から分析	男女ともに健康で生活できるようアプローチしていく	1	健康づくり課
	時期	11月					
	対象	吉田商工会会員 事業所従事者					
	商工会が実施する定期健康診断の会場で、受診者に生活習慣病予防やメンタルヘルスについての健康教育・相談を11月20日に実施 ■参加人数 56人						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
40 育児・介護休業法を周知します	事業名	育児・介護休業制度の普及と啓発	0	B ・関係法令の周知に努めた。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
41 労働の場における母性保護を周知します	事業名	職場内における出産退職など差別的な慣行の是正と母性保護のため企業への広報と啓発活動の推進	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
42 再就職のための情報提供や支援をします	事業名	職業能力の開発・向上を図るための各種の講座情報、職業情報・資料等の収集・提供	0	B ・男女共同参画における啓発事業を行った。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						
43 職業能力を開発するための情報提供や支援をします	事業名	職業能力の開発・向上を図るための各種講座情報、職業情報・資料等の収集・提供	0	B ・男女共同参画の内容を含んだ事業を実施した。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。 磨き屋一番館における研修生募集を通じ、専門的能力開発機会の創出に努めた。						

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
43 職業能力を 開発するた めの情報提 供や支援を します	事業名	母子家庭に対す る自立支援の充 実	5,246	A ・母子家庭の母とい うことで、女性に 限定している。 ・女性職員が相談 室で、相談面接に 応じるなど、相談 しやすい環境を整 えた。 ・個々の内容を把 握管理している。	母子家庭の母の 主体的な能力開 発を支援するた め、就業のため の技能や資格取 得のための教育 訓練受講料の4/10 の助成、または 生活の安定に資 する資格を得る ための生活の経 済的負担の軽減 を図るため訓練 促進費 10万円 を支給する。	3,680	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	母子家庭の母 母子家庭の母の 就職の際に有利 である資格を取 得する時の生活 費として、申請 者(看護師資格 取得者1名)に 「高等職業訓練 促進費」月額 14万1千円を支 給した。 ■1人					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
44 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について啓発します	事業名	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の啓発	0	B ・男性にとっての男女共同参画の啓発を行った	24年度同様	0	地域振興課
	時期	4月					
	対象	市民					
		ワーク・ライフ・バランスをテーマにしたコラムを広報に掲載					
44 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について啓発します	事業名	ワーク・ライフ・バランスについての情報提供	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市民					
		新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。					
45 【再掲】ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業の登録推進	0	B ・事業所を訪問し、登録について説明することで男女共同参画の啓発につながる	24年度同様	0	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市内企業、団体					
		広報紙にハッピー・パートナー企業の登録について掲載、また、個別に事業所を訪問し登録を依頼した。					
45 【再掲】ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発	0	B ・リーフレット等による周知を行った。	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
		リーフレット等による周知を行った。					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
46 【再掲】育児・介護休業法を周知します	事業名	育児・介護休業制度の普及と啓発	0	B	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時		・関係法令の周知に努めた。			
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
47 延長保育、早朝保育、乳児・未満時保育、障がい児保育、一時保育などの保育サービスを充実します	事業名	延長・早朝・乳児・障がい児・一時・特定保育の充実	—	B	24年度同様	—	子育て支援課
	時期	保育実施日		・次の世代を生きる子どもたちが豊かに健やかに育つよう、多様な保育サービスを提供し、子育てをする保護者の支援をする。			
	対象	園児と保護者					
	保育を必要とする児童とその保護者を対象に実施。 ・延長…午後4時～6時30分 公立19園・私立1園、6時45分 私立4園、7時 公立3園 ・早朝…午前7時30分～8時 公立22園・私立1園、7時15分～ 私立4園 ・乳児…産休明け～ 私立1園、生後2ヵ月以上 公立7園、生後5ヵ月以上 私立2園、生後6ヵ月以上 公立1園・私立2園 ・障がい児…集団保育が可能であれば、加配保育士を付けて全園で受入可能 ・一時保育…公立は大曲八王寺・吉田神田・あおい保育園の3園、私立は第二泉保育園・ぎんなん保育園の2園 ・特定保育…公立の西燕保育園 1園						
48 病後児保育の実施を検討します	事業名	病後児保育の実施（実施に必要な講習）	310	B	引き続き検討し、早期の実施を目指す。	310	子育て支援課
	時期	7/2・9/6・9/20・10/11・11/20・1/24・2/7		・病後児預かりに必要な要件である24時間の講習の年間計画を立て、必要な講習を順次実施していく。			
	対象	ファミリーサポート会員、市民					
	実施のための研修や小児科医との連携の持ち方等、引き続き検討し、早期の実施を目指す。 ■参加人数 約 135人（男 1人・女 134						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
49 児童の放課後の居場所を充実します	事業名	児童館・児童クラブ・なかまの会	164,875	B ・放課後に保護者いない児童の健全育成と共働きの両親の就労支援を図る。	24年度同様	186,710	子育て支援課
	時期						
	対象						
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館 児童、乳幼児及び保護者等を対象に季節の事業や体験活動を実施し、地域の児童の健全育成を図る。(8館) ・児童クラブ 就業などにより、保護者が昼間家庭にいない小学校1～4年生までの放課後児童を午後6時30分まで預かり、適切な遊びの場と生活の場を提供する。(12ヶ所) ・なかまの会 午後6時00分まで小学校6年生までの放課後児童の居場所を提供する。(6ヶ所) 						
50 ファミリーサポートセンターを充実します	事業名	会員養成講座	68	B 保育の必要な子どもを連れた受講者のため受講中の保育を実施している。	保育の必要な子どもがいても受講できるように今後も継続する。	69	子育て支援課
	時期	10月から2月(年7回)					
	対象	ファミリーサポートセンター会員					
	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い子育て支援ができるよう、ファミリーサポートセンター会員の募集と会員養成講座を開催する。 ・会員養成講座 提供会員の資質向上を目的に、専門の知識を持った講師から普通救命講習や子どもの成長過程に合わせた対応方法などの講座を開催する。 						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費	
51 地域子育て支援拠点事業を充実します	事業名	子育て支援センター	111	A ・事業内容は性差に関係なく参加できる。来館者や参加者に制限をつけていない。 ・両親、祖父母も参加できる内容にしてある。保育ボランティアを願いし、講座に集中できる体制づくりをした。 ・参加人数は抑えてあるが、男女別を把握していない。しかし、男女とも参加している。	210	子育て支援課
	時期	通年				
	対象	児童及び保護者				
	<p>・子育て支援センター …市内4カ所に設置されている児童館や保育園併設及び単独の子育て支援センターで各種教室や講座等により、地域の子育て家庭に対し育児支援を実施。</p>					
52 地域包括支援センターの運営を充実します	事業名	包括的支援事業	90,000	B ・第5期の介護保険計画に沿って行っている。多様なライフスタイルへの対応のため介護支援の充実をはかっている	90,000	福祉課
	時期	平成18年度から				
	対象	65歳以上住民				
	<p>地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるようにするため日常的個別相談、支援困難者への指導・助言を行っています。平成24年度は人員を4人から5人に増員し、増加する相談業務に対応している。また、増員により3職種がそれぞれの職種の特徴を生かした活動に取り組めるようになっている。 ■参加人数8,600人 総相談件数</p>					
				<p>個別相談、支援困難者への指導・助言に加え地域ケア会議、ネットワーク構築の業務を引き続き力を入れて行う</p>		

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
53 介護保険サービスを充実します	事業名	介護サービス給付事業	6,427,580	B ・第5期の介護保険計画に沿って行っている。多様なライフスタイルへの対応のため介護支援の充実はかっている	第五期介護保険計画にそって、地域密着型介護老人福祉施設1、小規模多機能事業所1か所開設が予定されている	6,881,310	福祉課
	時期 対象	平成12年から 40歳以上の要介護・要支援の認定を受けた方					
		平成24年度からは、第五期介護保険事業計画にそって事業が行われている。特養待機者の減少のため40床の増床、地域密着のサービスの充実のため10月には小規模多機能の事業所2か所にグループホーム2か所（3ユニット）が開設した。今後も計画に沿って、施設整備などを行っていく予定。 ■参加人数 3,910人平成24年11月認定者数					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
54 家族介護者交流事業を充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>在宅介護者リフレッシュ事業</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>要介護1以上の方の在宅介護者</td> </tr> </table> <p>高齢者を在宅で介護している家族を介護から一時的に解放し、心身の元気回復を図るため日帰り旅行（1回 参加者20名、男3名・女17名）、一泊旅行（1回 参加者13名、男1名・女12名）、ランチ交流会（12月末現在1回 参加者14名、男0名・女14名）や専門職による介護や心の相談、喫茶、部分マッサージなど（12月末現在4回 参加者延26名、男1名・女25名）交流事業を実施。（燕市社会福祉協議会委託） ■参加人数 12月末現在 73人（男5人・女68人）</p>	事業名	在宅介護者リフレッシュ事業	時期	通年	対象	要介護1以上の方の在宅介護者	1,000	C	24年度同様	1,000	福祉課
事業名	在宅介護者リフレッシュ事業											
時期	通年											
対象	要介護1以上の方の在宅介護者											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
55 介護予防サービスを推進します	事業名	地域支援事業	720	B 第5期の介護保険計画に沿って行っている。多様なライフスタイルへの対応のため介護支援の充実をはかっている	運動機能向上に役立つレインボー体操を知ってもらい普及する。自主グループ数の増加を目指す。この運動の普及により、支援から要介護1までの認定者の一号被保険者に占める割合が増加しないようにしたい。社会福祉協議会に委託し実施している。	720	福祉課
	時期	平成24年4月から					
	対象	65歳以上住民					
	24年度から要介護状態または要支援状態となることを予防するため、主として活動的な状態にある高齢者を対象に、レインボー体操普及により転倒予防・脳活性化を図り、運動習慣を身に着け、レインボー体操を取り入れた自主グループの育成などをおこない、100日運動とも連携している。これにより、生活機能の維持または向上に向けた取り組みが、自発的な活動となり、地域の高齢者が自ら活動に参加し、広く・主体的に実施されるために、また、新たなサロン活動ともなるよう、社会福祉協議会に委託し実施している。 ■参加人数 569人継続してレインボー体操を行っている人実人数						
56 在宅福祉サービスを充実します	事業名	在宅介護手当支給事業	70,210	C	24年度同様	73,271	福祉課
	時期	8月、11月、2月、5月					
	対象	要介護3以上の認定を受けている在宅の者					
	在宅で要介護3以上の認定を受けている人を介護する家族に、介護者の精神的、経済的な負担の軽減を図るため、在宅介護手当を支給しました。 ■対象人数 約750						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
56 在宅福祉サービスを充実します	事業名	在宅介護保険サービス利用者負担軽減事業	9,720	C	24年度同様	9,000	福祉課
	時期	通年					
	対象	要支援1から要介護2までの認定を受けている者					
	要支援1から要介護2までの認定を受けている人で対象要件に該当する人に、在宅の介護保険サービス自己負担額の3/10を軽減しました。 ■対象人数 1月末現在 21人(男7人・女14人)						
57 ひとり親家庭等の医療費を助成します	事業名	ひとり親医療費助成の充実	45,046	B	24年度同様	43,765	保険年金課
	時期	随時					
	対象	母子又は父子家庭、両親が児童を監護できない養育家庭及び児童を監護する父母のいずれかに重い障害がある家庭					
	母子家庭等からの申請により受給資格を審査し、受給者証を交付する。受給者は受診した医療機関で医療費の一定額を負担し、それ以上の医療費を助成する。また、該当者への勧奨案内や広報紙により制度の周知を図る。 ■受給世帯数 729世帯(母子668、父子52、養育者9)(男53人・女676人)						
						・ひとり親家庭の父、または母及び児童等に対し、医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成することで、ひとり親家庭が安心して生活できる環境整備、保健の向上と福祉の増進を図りました。	

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
58 リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて啓発します	事業名	地域セミナー	54	B ・男女では異なる健康問題をテーマにセミナーを行った。 ・働いている人も参加しやすいように産業カレンダーが休日の土曜日に開催した。保育ルームを設置した。	未定		地域振興課
	時期	9月～12月					
	対象	女性					
	更年期に関連した女性の体と心の変化をテーマにした「女性のためのカラダとココロの健康セミナー」を実施。全4回、参加者延56人、保育利用延4人						
58 リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて啓発します	事業名	助産師訪問や両親学級において家族計画指導を実施	3,616	A ・性別によるニーズの違いも意識して企画 ・夫と妻の両方の意見を聞くように配慮。夫婦で子育ての意識付けを心がけた。 ・毎回、参加者全員に直接感想を聞いており、妻の意見・夫の意見について把握をしている	専門的な立場から、夫婦に向けて指導を行っていく	3,616	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	妊産婦					
	助産師が訪問や妊婦学級・両親学級の場で、安全な出産についての指導や産後の家族計画指導の一環として実施。						
59 ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	事業名	19歳からの健診実施	7,421	A ・企画時に男女の意見を聞いた ・プライバシーの保護に配慮 ・検査データや生活習慣についてを男女別に集計	男女の健康問題についての比較を今後も実施	7,782	健康づくり課
	時期	4月～6月					
	対象	19歳～39歳					
	青年層にも、健康への意識を高め、健康の維持増進の機会とするため、健康診査や相談会を19歳から39歳にも実施している。 ■参加人数 939人 (男 246人・女 693人)						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
59 ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	事業名	各ライフステージにおける健診内容の充実	—	A ・健康診断期間中、特に内科健診では男女別健診に配慮して計画を立案。 ・内科健診では、男女別健診に配慮した。 ・健康教育推進委員会等で、意見・要望等を把握し、次年度計画に生かすようにしている。	24年度同様	—	学校教育課
	時期 対象	通年 児童・生徒・教職員					
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒及び教職員等の定期健康診断及び就学时健康診断 ・尿検査、ぎょう虫検査、血液（貧血）検査 ・歯科衛生士による歯周病予防指導 ・健康的で快適な学習環境の維持を図るための環境衛生検査 ■参加人数 約8,000人 （男 4,000人・女 4,000人）						
59 ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	事業名	保育園・幼稚園児の健康診断	5,667	B ・内科・歯科健診を実施し、保護者が安心して預けられる環境を作る。	保育園児を対象に、年2回実施する。 幼稚園児を対象に、年1回実施する。	5,134	子育て支援課
	時期 対象	春・秋の2回（保育園）、春1回（幼稚園） 園児					
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園児を対象に、春と秋の2回、医師による内科健診および歯科健診を実施。 ・幼稚園児を対象に、春に医師による内科健診および歯科健診を実施 						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	事業名	内容	事業費	評価ポイント	内容		事業費
60 男女ともにいきいきとした生活が送れるように元気増進対策を推進します	事業名	燕市健康増進計画推進プロジェクトの活性化や地区組織の活用、各種イベントにおいてポピュレーションアプローチを実施	29	A ・男女の意見を取り入れ企画 ・男性の参加を促すため、男性が主に運営したイベントの実施や男性のみの講座を企画 ・アンケートをとり男女比を把握	男性を意識した事業の企画	3	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	一般					
	健康増進計画推進プロジェクト「元気磨きたい」で12プロジェクトが磨きたいフェアを実施した。また200m市日に出店したり地区組織と協力しながら「元気ほっとほっと講座」を実施したりしている。さらに歯科フェアを11月に燕歯科医師会と共催で開催。						
61 食育を推進します	事業名	燕市食育推進計画の推進	656	A ・庁内プロジェクトや健康づくり推進委員会で男女の意見を取り入れている ・男女共同参画の内容が計画に含まれており、実施。性別に関係なく誰もが参加できる機会や男性のための教室を開催。 ・啓発普及や環境・産業などかなり広範囲のため、参加者や委員の声から男女の意見を把握	プロジェクトのメンバーが話しやすい環境を整備していく。食育推進の地区組織食生活改善推進委員の養成として栄養教室を次年度は実施(隔年実施)	907	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	一般					
	燕市食育推進計画を平成24年3月に策定し、現在実務者会議および食育推進庁内プロジェクト会議を実施し、6月の食育月間の取り組みや、ホームページにおいて食育だよりの掲載を6月から開始している。						
61 食育を推進します	事業名	市教委連携事業	0	B ・食育プラン、食育だより、給食だより等を作成する際に、性別役割意識に関する文言に配慮した。	食育だよりを年2回、給食だよりを年12回発行する予定。今後も、男女共同参画の視点を取り入れた文面の構成に配慮したい。	0	学校教育課
	時期	通年					
	対象	小学生、中学生、保護者					
	実態把握に基づく食育の推進 食育指導計画の整備・改善の促進 便り等による家庭・地域への啓発 ■参加人数14人(男4人・女10人)						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
61 食育を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>キッズ健康講座</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>6月27日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>吉田神田保育園 全園児及びその保護者</td> </tr> </table> <p>・食育年間計画、保育年間計画に基づいた食育の推進や給食だより、講演会による家庭、地域への啓発を図る。 ・幼児期の食事について保護者に講演。親子でおにぎり作り体験。保育園給食の試食。 ■参加人数 約126人 (男26人・女100人)</p>	事業名	キッズ健康講座	時期	6月27日	対象	吉田神田保育園 全園児及びその保護者	15	A ・保護者と保育園が相談して来園しやすい日を決めた。 ・「保護者」とし「性差」を示さなかった。 ・保育園で、父母、祖父母と男女別を把握した。	幼児期の食事の重要性と親子で食事を作る楽しさを知ってもらう。男女問わず参加できるように保護者としている。	15	子育て支援課
事業名	キッズ健康講座											
時期	6月27日											
対象	吉田神田保育園 全園児及びその保護者											
62 心の健康づくりを推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>自殺対策事業の実施</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>一般</td> </tr> </table> <p>健診時にアンケートを実施し、実態把握およびハイリスク者への個別支援、保健師による個別相談会を各センターで実施（参加者合計20名）、こころの健康づくり講演会を10月13日に実施（参加者300名）、こころの健康講座を4回開催 10月～1月、ゲートキーパー養成講座（一般向け1回、専門職向け1回）の実施 11月、各種イベントにおいてパンフレット、のぼり旗による啓発普及</p>	事業名	自殺対策事業の実施	時期	通年	対象	一般	488	A ・男女の意見を取り入れ企画 ・グループワーク等では男女一緒に実施 ・健診時のアンケートでは性別で集計、課題を研究	今後も性別による自殺の実態や生活習慣を確認し、男女の意見を取り入れ企画していく	335	健康づくり課
事業名	自殺対策事業の実施											
時期	通年											
対象	一般											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
63 スポーツを通じた健康づくりを推進します	事業名	健康づくり教室	160	A ・広報周知、スポーツ推進委員などに声掛けをし、広く募集を行い参加数の増員に努めた ・仕事が終わってからも参加しやすいように、開催時間を午後7時30分からとした。 ・参加者から飽きられないよう、毎回種目を変え開催するように努めた。	24年度同様	160	スポーツ推進課
	時期	5月上旬～11月上旬					
	対象	一般市民 ・燕市体育センター 毎週木曜日PM7:30～21:30 参加者数 18名 ・スポーツランド燕 毎週火曜日PM7:30～21:30 参加者数 15名 ・吉田総合体育館 毎週水曜日PM7:30～21:30 参加者数 13名 ・分水総合体育館 毎週水曜日PM7:30～21:30 参加者数 5名 ■参加人数 約 51人 (男 24人・女 27人)					
63 スポーツを通じた健康づくりを推進します	事業名	高齢者健康づくりのつどい	15	A ・広報掲載、HPなどを活用し、広く募集に努めた ・だれでも気軽に参加でき、家庭でもできるレインボータンクトレーニングを取り入れた開催を行った。 ・参加者に開催内容についてのアンケート調査を行い、今後の開催の参考とさせてもらった。	24年度同様	20	スポーツ推進課
	時期	平成24年7月2日(月)					
	対象	市内在住50歳以上の方					
	実技	モーニングストレッチ体操、いきいきクラブ体操、健康ウォーキング 講師 斎藤友子 先生 実技と講義 『いつまでも元気な体づくり 健骨体操(筋刺激体操)』 講師 レインボー健康体操公認インストラクター 川本朝子・川瀬和子 先生 ■参加人数 約100人					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
64 女性特有の疾病に対応する検診機会を充実します	事業名	乳がん・子宮がん検診の年齢・回数の拡充及び無料クーポン券発行、骨粗しょう症検診の毎年実施	51,455	A ・女性の健康課題やニーズについて把握 ・女性職員がなるべく従事。医療機関での個別健診も実施。 ・健診データの分析の実施	施設健診の機会を増やすなど受けやすい体制を整備し、啓発していく	66,651	健康づくり課
	時期	6～11月					
	対象	検診の対象年齢に該当する女性					
	子宮がん検診を20歳から毎年実施、乳がんの視触診検診を30～39歳にも実施、骨粗しょう症検診は節目年齢ではなく毎年継続して受診できる。 ■人数 11,942 人						
65 妊娠・出産における健康支援をします	事業名	母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診指導の実施	0	A ・妊娠・出産についての課題についての指導も取り入れた健診項目の設定 ・未婚の母や若年妊娠については可能な限りプライバシーに配慮し、交付時に指導 ・妊婦健診の結果を把握、指導に生かしている	里帰り出産など県外での出産もあるので、今後も丁寧に指導をしていく	0	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	母子手帳交付申請者					
	母子手帳交付時に、妊婦一般健康診査（14回）の助成について説明をし、受診指導を実施している。 ■人数 約600 人						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
66 子宮頸がんワクチンの助成をします	事業名	子宮頸がんワクチンの接種費用補助および接種勧奨	14,616	A ・女性特有の課題として実施 ・受けやすい体制として医療機関での個別実施 ・受診者数などから、受診勧奨の工夫について検討	受けやすい体制の整備や受診勧奨の工夫	17,025	健康づくり課
	時期	平成25年3月31日まで					
	対象	中学1, 2, 3年生及び高校生1年生女子					
	子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額助成（契約医療機関以外の場合、助成額に上限あり）を実施し、平成23年度高校1年で、昨年度中に1回目または2回目の接種を受けている場合は、高校2年でも対象としている。昨年の年度末に今年度対象者へ個別に予診票やパンフレット等を郵送し、受診勧奨。 ■人数 女 917人※12月末までの接種延人数						
67 不妊に関する相談、支援をします	事業名	燕市特定不妊治療費助成事業を実施	793	A ・男女の意見を聞いた ・プライバシーの保護に努めている ・その後の妊娠成功者を確認している	申請者へのプライバシーの保護に今後もつとめていく	4,000	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	県の補助制度利用者					
	新潟県不妊に悩む方への特定支援事業を申請し助成の承認を受けた方に、平成24年4月1日以降に新潟県知事が指定した医療機関で行う体外受精及び顕微授精に要した費用について、県の助成額を控除した額の2分の1を補助します。（1治療あたり8万円を上限、1年度あたり2回を限度、最長10回または通算5年間） ■16組※1月末現在						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
68 男性特有の疾病に対する検診機会を充実します	事業名	前立腺がん検診の実施	3,878	A ・男性の健康課題を取り上げている ・血液検査なので簡易、待ち時間が少なくなるよう配慮 ・検査結果の把握をしている	男性が健康について考えるよい機会と捉え、今後も継続していく	4,120	健康づくり課
	時期対象						
	昨年度の2月頃に世帯調査票を配布し、検診の申し込みをされた方に受診票を送付している。受診票送付後や検診当日の申し込みも可能にしている。血液検査による前立腺特異抗原検査を実施している。 ■人数 男1,396人						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	1	暴力根絶に向けた意識啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
69 ドメスティック・バイオレンス防止を啓発します	事業名	ドメスティック・バイオレンス防止啓発	0	A ・男性とは異なる女性ならではの問題を相談できる窓口設置の周知をした。 ・女性職員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境づくりに配慮した。 ・個人別に相談記録を管理している。	女性の問題に対応した相談窓口開設について、広報に掲載し周知に努める。	0	健康づくり課
	時期	通年					
	対象	市民					
	DV相談窓口の開設を毎月広報で周知						
70 【再掲】セクシュアル・ハラスメント防止を啓発します	事業名	セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した	24年度同様	0	商工振興課
	時期	随時					
	対象	市内事業所					
	新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。						

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	2	被害者の自立支援対策の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
71 児童虐待など家庭内における暴力の早期発見、被害者の保護に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>児童虐待防止の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>要保護児童対策地域協議会 年2回開催した。(7月・2月) 個別支援会議開催(18回) 男女の構成員で成立、関係機関と連携しながら児童虐待防止及び要保護児童の支援に努めた。また、男女の視点で意見交換・支援の方向性の話し合いをおこなった。</p>	事業名	児童虐待防止の推進	時期	通年	対象	市民	40	A ・要保護児童の虐待防止・支援に対し、性別の違いにより生じる課題などを協議会構成員、職員にかかわらず男女の意見を聞いた。 ・会議招集にあたり、男女のバランス、プライバシーの保護について留意した。 ・参集者及び会議内容の記録を作成し管理をおこなった。	要保護児童対策地域協議会・個別支援会議には男女の参画と関係機関と連携しながら児童虐待防止及び要保護児童の支援に努める。	40	健康づくり課
事業名	児童虐待防止の推進											
時期	通年											
対象	市民											
72 被害者の自立を支援します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>被害者の自立支援と関係相談機関との連携強化</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>通告などを通じて、随時警察と連携協力をしている。 「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携を取りながら被害者の自立支援に努めた。 ■人数 女8人</p>	事業名	被害者の自立支援と関係相談機関との連携強化	時期	通年	対象	市民	3,920	A ・被害者に対し、男性とは異なる女性ならではの問題を被害者に配慮した相談窓口について関係機関と連携の上、周知をした。 ・女性職員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境に配慮した。 ・個々の相談記録を把握管理している。	女性の問題に対応した相談窓口を設置し、有資格者による女性相談員を配置するなど、女性が相談しやすい環境を整え、「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携を取りながら対応してい	2,160	健康づくり課
事業名	被害者の自立支援と関係相談機関との連携強化											
時期	通年											
対象	市民											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	3	相談体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>各種相談窓口の開設と周知</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>毎月定期的または随時、市民等を対象に次の相談を実施している。また、広報つばめで相談の実施について周知している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士及び司法書士による無料法律相談 ・人権擁護委員及び行政相談委員による相談会 ・その他関係機関と連携したなかでの相談場所の紹介 	事業名	各種相談窓口の開設と周知	時期	随時	対象	市民	467	B ・「女性の人権ホットライン」強化週間(11/12～11/18)を広報つばめで周知した。	24年度同様	467	総務課
事業名	各種相談窓口の開設と周知											
時期	随時											
対象	市民											
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>女性のための総合相談窓口</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>毎月第3火曜日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>女性</td> </tr> </table> <p>NP0法人 女のスペース・にいがたの相談員を配置し、女性を対象にした相談事業を実施。広報紙やチラシなどで周知している。4月～1月相談件数23件</p>	事業名	女性のための総合相談窓口	時期	毎月第3火曜日	対象	女性	131	A ・男性とは異なる女性ならではの問題を相談できる窓口を設置した ・女性相談員を配置し、女性が相談しやすい環境を整えた。 ・年代別の相談項目などを把握している	24年度同様	131	地域振興課
事業名	女性のための総合相談窓口											
時期	毎月第3火曜日											
対象	女性											
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>DV・児童虐待等の相談</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>DVについては、「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携をとりながら、被害者の心情に配慮し対応した。 児童虐待については、誰でも気軽に通告・相談ができるよう保育園・幼稚園・関係機関へポスター・チラシを配布し啓発に努めた。</p>	事業名	DV・児童虐待等の相談	時期	通年	対象	市民	0	A ・被害者に対し、男性とは異なる女性ならではの問題を被害者に配慮した相談窓口について関係機関と連携の上、周知・対応をした。 ・女性職員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境に配慮した。 ・個々の相談記録を把握管理している。	専門知識を有する女性相談員を配置し、女性が相談しやすい環境を整え、DV被害者及び児童虐待相談等に対し、適切な対応と関係機関との連絡調整により支援に繋げていく。	0	健康づくり課
事業名	DV・児童虐待等の相談											
時期	通年											
対象	市民											

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	3	相談体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
74 【再掲】セクシュアル・ハラスメントの相談窓口を周知します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知</td> </tr> <tr> <td>時 期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対 象</td> <td>市内事業所</td> </tr> </table> <p>新潟労働局や県労政雇用課より送付されてきたポスターの掲示、リーフレット等の各商工団体の窓口へ設置したり、広報掲載の依頼をすることによって、企業への周知を図った。また、市関係各所窓口にも設置することで、広く市民への周知に努めた。</p>	事業名	セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知	時 期	随時	対 象	市内事業所	0	B ・男女共同参画における啓発事業を実施した。	24年度同様	0	商工振興課
事業名	セクシャル・ハラスメントの相談窓口の周知											
時 期	随時											
対 象	市内事業所											

		計画の総合的な推進
施策	1	推進体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
75 男女共同参画推進会議を開催し、男女共同参画の施策を総合的かつ効果的に推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男女共同参画推進会議の開催</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td></td> </tr> </table> <p>会議としては未実施であるが、推進状況については庁内経営会議で報告する。 推進会議の組織の見直し（男女共同参画庁内推進員の設置）を検討している。</p>	事業名	男女共同参画推進会議の開催	時期		対象		0	B ・男女共同参画庁内推進員の設置をすることで、庁内における男女共同参画の推進が図られる。	会議案件がでたときに随時開催する	0	地域振興課
事業名	男女共同参画推進会議の開催											
時期												
対象												
76 男女共同参画推進委員会を開催し、男女共同参画の推進に関する意見や助言をいただきます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男女共同参画推進委員会の開催</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>2月</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>推進委員</td> </tr> </table> <p>プランの推進状況を報告し、男女共同参画推進について、委員から意見や提言をいただく。</p>	事業名	男女共同参画推進委員会の開催	時期	2月	対象	推進委員	55	A ・委員は男性4人、女性6人で構成し、男女双方の意見を聞く機会を設けている ・男女双方が意見を述べるができるよう会議の運営に配慮している。 ・意見提言をいただくことで男女共同参画を推進するための課題を把握することができる	24年度同様	55	地域振興課
事業名	男女共同参画推進委員会の開催											
時期	2月											
対象	推進委員											

		計画の総合的な推進
施策	2	市民、事業所、各種団体、関係機関との連携協力

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
77 市民、事業所、各種団体との連携や協力、情報交換などを行います	事業名	つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ	600	B ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・実行委員への意識啓発につながる	24年度同様	600	地域振興課
	時期	11月25日					
	対象	市民					
	市民参加の実行委員会と燕・弥彦PTA連絡協議会、燕市社会福祉協議会と共催でふれ愛フェスタを開催						
78 国や県等関係機関、他市町村との連携や協力、情報交換など行います	事業名	(財)新潟県女性財団との連携・協力	54	B ・財団と協力することにより男女共同参画の視点で事業を企画できる ・財団主催のセミナー等に職員が参加することにより職員への啓発につながる	24年度同様	54	地域振興課
	時期	通年					
	対象	市民・職員					
	(財)新潟県女性財団と共催で地域セミナーを開催。財団が主催するセミナーや研修に職員延8人が参加。						

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
79 女性職員の登用を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男女共同参画職場の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>職員の人事異動にあつては、経験や能力を見極め、できる範囲において、女性職員を活かせる人員配置に努める。</p>	事業名	男女共同参画職場の推進	時期	随時	対象	職員	0	B ・人事異動の際に自己申告書を提出してもらった。	職員の人事異動にあつては、経験や能力を見極め、できる範囲において、女性職員を活かせる人員配置に努める	0	総務課
事業名	男女共同参画職場の推進											
時期	随時											
対象	職員											
79 女性職員の登用を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>ポジティブ・アクション導入の検討</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>職員の昇任については男女の差別はせず、能力に応じ行う。 職員研修については、男性職員に限らず、女性職員にも参加の機会を増やす。 ■参加人数 144人(男99人・女45人)</p>	事業名	ポジティブ・アクション導入の検討	時期	随時	対象	職員	0	B ・女性職員の研修等への参加機会を増やした。 ・管理職・監督職への女性の登用を積極的に行った。	職員の昇任については男女の差別はせず、能力に応じ行う。 職員研修については、男性職員に限らず、女性職員にも参加の機会を増やす。	0	総務課
事業名	ポジティブ・アクション導入の検討											
時期	随時											
対象	職員											
80 職員を対象にした男女共同参画についての研修を実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>職員研修</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>12月</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>主事・主任級職員</td> </tr> </table> <p>12月18日実施。 タイトル:「男女共同参画基礎講座～男女共同参画社会とは～」 講師: (財)新潟県女性財団 理事長大島照美子 参加人数: 81人</p>	事業名	職員研修	時期	12月	対象	主事・主任級職員	20	A ・男女共同参画を理解してもらうための研修を行った ・一般職、技術職、保育士などあらゆる分野の職員を対象にした ・アンケートを実施し、男女別にデータを集計した	係長・副参事クラスを対象にした研修を行う	20	地域振興課
事業名	職員研修											
時期	12月											
対象	主事・主任級職員											

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課						
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費							
81 セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの防止と相談体制の充実に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>セクハラ・パワハラ防止研修会の開催と相談窓口の周知</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>11月2日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員(副参事・係長・主査)</td> </tr> </table> <p>外部講師を招き、パワハラ防止のための研修会を実施。 午前1回、午後1回の計2回研修会を実施し、61人の監督職の職員が参加した。 セクハラ・パワハラ相談窓口及び職員への周知は、4月、9月、11月に実施した。 ■参加人数 61人(男38人・女23人)</p>	事業名	セクハラ・パワハラ防止研修会の開催と相談窓口の周知	時期	11月2日	対象	職員(副参事・係長・主査)	148	B ・対象者に女性職員を半数程度入れた。 ・講師を女性にすることにより、女性の視点についても取り入れた研修会を開催した。	外部講師を招き、パワハラ防止のための研修会を実施。	150	総務課
事業名	セクハラ・パワハラ防止研修会の開催と相談窓口の周知											
時期	11月2日											
対象	職員(副参事・係長・主査)											
82 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>ノー残業デーの徹底</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>毎週末曜日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>毎週木曜日を「ノー残業デー」とし、始業時に庁内放送を通じて職員へ周知を図っている。</p>	事業名	ノー残業デーの徹底	時期	毎週末曜日	対象	職員	0	B ・男女を問わずワーク・ライフ・バランスの実現のため残業の縮減を目的としている。		0	総務課
事業名	ノー残業デーの徹底											
時期	毎週末曜日											
対象	職員											
83 男性職員の育児・介護休暇、看護休暇の取得を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>・育児休業、部分休業取得者H24年度：12月末現在20名(男性0、女性20)(合併前に男性職員1人の取得実績あり) ・介護休暇取得者H24年度：12月末現在 延べ2名(男性0、女性2) ・看護休暇取得者H24年度：12月末現在 延べ65名(男性25、女性40)</p>	事業名	男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得の推進	時期	随時	対象	職員		B ・介護休暇については、男性職員の取得も多くなっている。	男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得推進のため、周知の充実と取得しやすい職場の雰囲気づくりを図る		総務課
事業名	男性職員の育児・介護休暇、看護休暇取得の推進											
時期	随時											
対象	職員											

		計画の総合的な推進
施策	4	計画の推進状況の調査と公表

事業費:単位 千円

具体的事業	24年度実施状況			次年度計画		担当課	
	内容	事業費	評価ポイント	内容	事業費		
84 計画の推進状況を把握するため、関係課への調査を実施し、その主な結果を市民に公表します	事業名	推進状況の調査と公表	0	B	24年度同様	0	地域振興課
	時期	3月		<ul style="list-style-type: none"> ・調査をすることによって職員への啓発になる ・公表することにより市民への啓発につながる 			
	対象	職員・市民					
	平成24年度の推進状況については後日公開する						